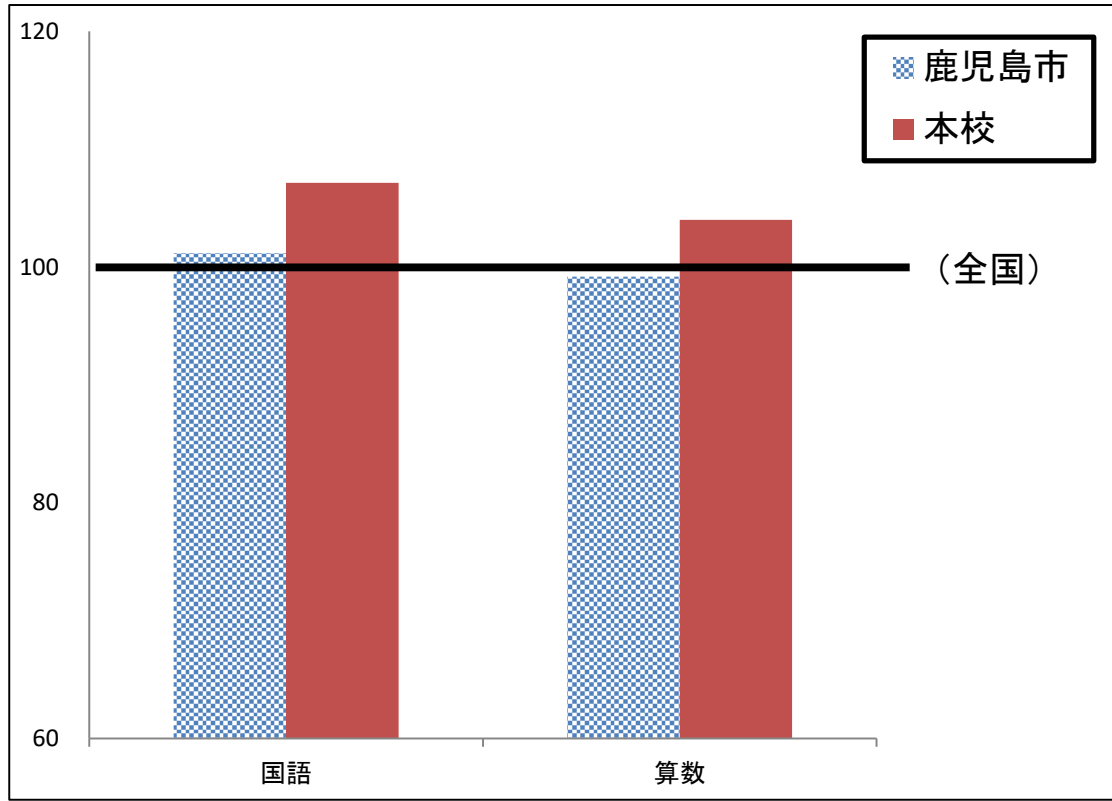


令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

田上小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

漢字の書き取りに課題が見られました。漢字の書き取りに関しては、新出漢字についてデジタル教科書を活用しながら注意点を押さえたり、朝の活動での漢字練習や漢字小テスト等で添削をしたりするなどして、漢字の読み書きが確実にできるようにします。また、Navimaの活用を積極的に行うことで、既習漢字の定着を図ります。

〈算数〉

「図形」領域に課題が見られました。指導に当たっては、低学年から色板の活用や折り紙などを利用した操作活動を積極的に取り入れることで、実感を伴った学習内容の定着を図ります。さらに、図画工作科など他教科との関連も踏まえた授業の在り方も検討する必要があります。また、中学年以上では、一人一台端末の活用や書画カメラ等を活用し、自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができるような指導の工夫を行います。

〈全体的に〉

以上の結果から、知識・技能の定着が十分ではない部分があることや、操作活動の機会を十分に確保した授業の必要性があるということが分かりました。授業と連動して朝の活動や家庭学習なども含めて、子供たちに学力を付けることができるよう今後も努めます。また、児童質問紙の結果から、「将来の夢や目標をもっていますか。」という問いに70%の子供たちがもっていると解答しています。また、「5年生までに受けた授業でPC・タブレットなどをどのくらい活用しましたか。」という問いに対しては、93%の子供たちが、ほぼ毎日のように活用していると回答しています。これは、全国平均と比べても高い結果です。今後も、課題となる部分については丁寧に指導し、向き合い、よい面については更に伸ばしていけるよう、教児一体で取り組んでいきます。